

人生科学部

介護・健康学科（第15期生・1年次）

〔学科長〕

むらたさちこ
村田幸子

福祉ジャーナリスト、元NHK解説委員

【主な著書】「住民参加型の福祉活動」〔ぎょうせい〕ほか

〔講師〕

- ・ 矢郷恵子（毎日の生活研究所代表取締役）
- ・ 岡村昭雄（江戸川区福祉部長）
- ・ 坂本崇一郎（江戸川区福祉部介護保険課長）
- ・ 大淵修一（東京都健康長寿医療センター高齢者健康増進事業支援室研究部長）
- ・ 岡田雄三（社会福祉法人「夢のみずうみ村」 副代表）
- ・ 木村美佳（NPO法人国際生命科学研究機構健康推進協力センター[ILSI Japan CHP]）
- ・ 早瀬昇（NPO法人日本NPOセンター代表理事、大阪ボランティア協会常務理事）
- ・ 山本國子（江戸川区福祉ボランティア団体協議会副会長）
- ・ 杉山孝博（社会医療法人財団石心会川崎幸クリニック院長）
- ・ 永田久美子（認知症介護研究・研修東京センター研究部長）
- ・ 菅原弘子（一般社団法人福祉自治体ユニット事務局長）
- ・ 池田昌弘（NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター理事長）
- ・ 芹澤隆子（NPO法人日本ダイバーショナルセラピー協会理事長）
- ・ 田村弘子（株式会社サンハート介護部 部長）
- ・ 大貫正男（司法書士、公益社団法人成年後見センターリーガルサポート元理事長）
- ・ 平岩千代子（NPO法人シニアライフ情報センター理事）
- ・ 本間郁子（公益財団法人Uビジョン研究所理事長）
- ・ 藪中富子（社会福祉法人「伯耆の国」 ゆうらく副施設長）
- ・ 多田信子（医療法人財団健和会 大島訪問看護ステーション訪問看護認定看護師）
- ・ 石黒秀喜（老い支度クリエイター）
- ・ 河田瑠子（支え合いの仕組みづくりアドバイザー）
- ・ 鷺尾公子（NPO法人ぐるーぷ藤会長）
- ・ 岡 勇樹（NPO法人 Ubdobe 代表理事）
- ・ 江戸川総合人生大学卒業生及び活動団体

〔専門科目の開講日・時間〕

火曜日：午後2時～午後4時 ※具体的な日程は「授業計画」のとおりです。

〔目的・概要〕

介護保険制度は、税金と保険料を財源とした老いを支える公的な制度です。しかし、地域で暮らすお年寄りや障がいをもった人たちを、公的な制度だけでは支えきれません。自分の住む地域にどんな問題があるか、それを解決するためにどう活動したらいいかということを考え、自ら実行することが大事です。つまり要求するだけの住民から「提案型」の住民に育つことができるかどうか問われています。そうしたヒントが満載の授業内容です。

加えて、福祉は人と人との関わりです。より良い人間関係を身につけるためのコミュニケーション能力についても学びます。

2年次は、1年目に蓄えた知識や各地で実際に行われている活動を通して見えてきた見近な課題についてグループで研究討議し、その成果が自らの実践活動につながるような方策を探ります。

〔授業計画〕 ※ 内容や実施日等は一部変更になる場合もあります。

実施回	日程	テーマ・概要・講師
第1回	2018年 10/16(火)	オリエンテーション 介護・健康学科の1年間の流れや目的を確認し、講師、及び学生同士の相互理解を深めます。 [講師] 村田幸子(学科長)
第2回	10/23(火)	地域で暮らすしくみ 国は世界に類のない超高齢社会を乗り切るため、2025年までに「地域包括ケアシステム」を構築したいと考えています。「地域包括ケアシステム」とは何か、その中で求められる地域住民の役割は何かについて学びます。 [講師] 岡村昭雄(江戸川区福祉部長)
第3回	10/30(火)	介護保険制度 2000年に導入された介護保険制度。私たちの老いの暮らしを支えてきました。導入の社会的背景やこれまでの経緯、そしてどのように見直されるのかについて学びます。 [講師] 村田幸子(学科長) 坂本崇一郎(江戸川区福祉部介護保険課長)
第4回	11/6(火)	介護予防は健康づくり 要介護状態にならずできるだけ長く元気で暮らしたいと、誰もが願います。そのために必要なのは「予防」です。介護予防の重要性や具体的な方法を学びます。 [講師] 大淵修一(東京都健康長寿医療センター高齢者健康増進事業支援室研究部長)
第5回	11/13(火)	介護予防は生きがいづくり 介護予防＝筋トレ、と思っていませんか。しかし、本人が意欲的に取り組もうと心が動かなければ効果がありません。夢のみずうみ村デイサービスセンターには、目からウロコの仕掛けが満載です。 [講師] 岡田雄三(社会福祉法人「夢のみずうみ村」副代表)

実施回	日程	テーマ・概要・講師
第 6 回	11/20 (火)	介護予防・低栄養と口腔ケア 低栄養の高齢者が多く見られます。粗食は老化を促進させ、寝たきりなどの引き金となります。高齢者が自らの食生活を見直すための具体的な取り組み「テイクテン」を紹介します。 [講師] 木村美佳 (NPO法人国際生命科学研究機構健康推進協力センター [ILSI Japan CHP])
第 7 回	11/27 (火)	地域活動は元気のもと ～卒業生の実践～ 人生大学を卒業した人たちの多くが、地域でボランティア活動をし、生きがいを得ています。社会貢献はなぜ、健康づくりに役立ち生きがいを得ることに繋がるのでしょうか。先輩たちの実践から探ります。 [講師] 区内活動をしている卒業生団体の代表
第 8 回	12/ 4 (火)	NPOとボランティア 増えつづけるNPO法人。ボランティアと何が違うのか、社会に対する役割や可能性は何か、具体的活動例を通して学びます。 [講師] 早瀬昇 (NPO法人日本NPOセンター代表理事、大阪ボランティア協会常務理事)
第 9 回	12/11 (火)	介護技術の基礎 障がいを持った方々が街の中で困っていることや、周囲に求めていることなど、生の声を聞くほか、車いすの取り扱い方、視覚障がい者のガイドヘルプなどを学びます。 [講師] 山本國子 (江戸川区福祉ボランティア団体協議会副会長)
第 10 回	12/18 (火)	2年生の発表を聞く (1年次・2年次 合同授業) 2年生が授業で作成した壁新聞の発表会に参加することによって、今の江戸川区の現状を知るとともに地域の課題について意見交換を行います。 [講師] 村田幸子 (学科長) 矢郷恵子 (毎日の生活研究所代表取締役)
第 11 回	12/25 (火)	振り返り&ディスカッション これまでの学びを振り返り、学生同士の話し合いを重ねて、次のステップに進みます。 [講師] 村田幸子 (学科長)
第 12 回	2019 年 1/ 8 (火)	認知症を知ろう① ～認知症とは～ 認知症に対してはまだまだ偏見・差別がみられます。それを払拭するには、認知症とは何か、どういう症状が出るのか、それにどう対応したらいいのか、ということを一一人が理解し対応することが大事です [講師] 杉山孝博 (社会医療法人財団石心会川崎幸クリニック院長)
第 13 回	1/15 (火)	認知症を知ろう② ～認知症の人の思い、願い～ 認知症というと、短絡的に (何もわからなくなった人) と考えがちです。認知症になってもたくさんの力が残されており、その人なりの社会参加ができるのです。その実例を見ながら、認知症の人を理解し、寄り添う大事さについて学びます。 [講師] 永田久美子 (認知症介護研究・研修東京センター研究部長)
第 14 回	1/22 (火)	認知症を知ろう③ ～認知症サポーター・介護相談員～ 今、全国で多くの人たちが活躍する認知症サポーターや介護相談員。それぞれの役割や地域でできることなどについて、実例をもとに学びます。 [講師] 菅原弘子 (一般社団法人福祉自治体ユニット事務局長)

実施回	日程	テーマ・概要・講師
第 15 回	1/29 (火)	<p>認知症を知ろう④ ～小規模・多機能ホーム～</p> <p>認知症のお年寄りを地域で支えるしくみとして、小規模・多機能ホームと言われるサービスがあります。なぜ今、小規模・多機能が注目されるのか、またそのメリットは？</p> <p>[講師] 池田昌弘 (NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター理事長)</p>
第 16 回	2/ 5 (火)	<p>認知症を知ろう⑤ ～ダイバーショナルセラピー～</p> <p>ダイバーショナルセラピーとは、最後まで「楽しさ」を諦めないケア。オーストラリア生まれのDTの考え方を学び、それを実践しているホームの例を紹介します。</p> <p>[講師] 芹澤隆子 (NPO法人日本ダイバーショナルセラピー協会理事長)、田村弘子 (株式会社サンハート介護部 部長)</p>
第 17 回	2/12 (火)	<p>認知症を知ろう⑥ ～成年後見制度～</p> <p>認知症の人の権利を護るために導入された成年後見制度。介護保険制度と車の両輪と言われながら、その利用ははかばかしくない。リフォーム詐欺にあったり、年金を家族に使い込まれたり、権利侵害の例は後を絶たない。制度を理解し人権を護る意識の向上を図ります。</p> <p>[講師] 大貫正男 (司法書士、公益社団法人成年後見センターリーガルサポート元理事長)</p>
第 18 回	2/19 (火)	<p>住まいさまざま</p> <p>老後、どこで誰と暮らすか。老いの住まいに関心が高まっています。有料老人ホーム、ケアハウス、サービス付高齢者住宅などさまざまな形態が出てきました。その違いは？メリット・デメリットは？</p> <p>[講師] 平岩千代子 (NPO法人シニアライフ情報センター理事)</p>
第 19 回	2/26 (火)	<p>特別養護老人ホームの役割とその暮らし</p> <p>昭和38年に制度化された特別養護老人ホーム。長いこと日本の福祉を担ってきましたが、時代と共に大きく変わり、質の向上が図られ、部屋代等は個人負担となりました。特別養護老人ホームの基礎的なことを学び、そこに暮らす人や家族の思いに言及します。</p> <p>[講師] 本間郁子 (公益財団法人Uビジョン研究所理事長)</p>
第 20 回	3/ 5 (火)	<p>特養ホーム ～個室・ユニットケア～</p> <p>特養ホームは、部屋は個室、そしてお世話の仕方はユニットケアと変わってきました。個室・ユニットケアで目指すお世話とはどういうものか。またそこでの暮らしはどう変わったのか。先駆的な取り組みをしてきた施設の例をもとに探ります。</p> <p>[講師] 藪中富子 (社会福祉法人「伯耆の国」ゆうらく副施設長)</p>
第 21 回	3/12 (火)	<p>振り返り&ディスカッション</p> <p>これまでの学びを振り返り、学生同士の話し合いを重ねて、次のステップに進みます。</p> <p>[講師] 村田幸子 (学科長)</p>
自由参加	3/23 (土) 曜日注意!	<p>介護・福祉学科14期生のイベントに参加しよう</p> <p>2年次では、企画力を身につけるために授業で事業企画を行います。ここでは、2年生が企画した事業に参加することによって、自らが進んで働くことの重要性、また、楽しいだけでなく、本当に意味のある企画とは何かを考えます。</p>

実施回	日程	テーマ・概要・講師
第 22 回	4/ 9 (火)	訪問看護 訪問看護とは、看護師が在宅の要介護高齢者のお宅を訪問して療養生活を支えてくれるサービス。訪問看護によって高齢者の暮らしの質はどう変わるのだろうか。 [講師] 多田信子 (医療法人財団健和会 大島訪問看護ステーション 訪問看護認定看護師)
第 23 回	4/23 (火)	老い支度 元気な時から、自分の老後について考える機会を持つことが大事です。自己点検ノートをもとに、自らの老後をイメージして準備をしてみませんか。 [講師] 石黒秀喜 (老い支度クリエイター)
第 24 回	5/ 7 (火)	私の実践お話しします ～地域の居場所づくり～ 自宅の近くに気軽に集える所があるといいですね。そうした居場所づくりが今、全国的に盛んに行われています。講師の河田さんは、嘗てご自身も地域の居場所づくりに取り組み、現在はその普及につとめておられます。 [講師] 河田瑠子 (支え合いの仕組みづくりアドバイザー)
第 25 回	5/14 (火)	私の実践お話しします ～主婦の底力～ 住民の助け合いグループから出発した活動は、今や8つの事業を行うほどに成長し、地域から絶大な支持を得ています。いわゆる普通の主婦と言われる人たちが、これからの介護の世界を変えていく予感をもたせてくれます。 [講師] 鷺尾公子 (NPO法人ぐるーぷ藤理事長)
第 26 回	5/21 (火)	私の実践お話しします ～サラリーマンの挑戦～ 仕事一筋で働いてきたサラリーマン。定年後、地域で暮らす術もなく有り余る時間を持て余し、無為な日々を送る人を多くみかけます。人生大学で学んだサラリーマンは、大学で何を学んで、卒業後、どんな生きがいある暮らしを獲得したのでしょうか。人それぞれの(学んで実践)を話してもらいます。 [講師] 江戸川総合人生大学卒業生
第 27 回	5/28 (火)	私の実践お話しします ～楽しみながら、他人の役にたつ～ 音楽三昧の大学時代。ひたすら遊ぶドラ息子だったと、自ら言います。母親をがんで亡くし、祖父が認知症に。岡さんの人生を思いもかけぬ福祉の道へと導きました。介護も他の仕事と同じ、という若者の声は新鮮で刺激的です。 [講師] 岡 勇樹 (NPO法人 Ubdobe 代表理事)
単位外	6/ 4 (火)	大学祭に向けて 学びの成果を発表する大学祭への取り組みについて検討します。 (学生のみ)
第 28 回	6/11 (火)	2年生の卒業発表を聞こう 介護・福祉学科2年生の卒業にあたっての課題研究発表や現在の活動状況を聞き、身近らの課題を探るきっかけとします。 [講師] 村田幸子 (学科長)
第 29 回	6/18 (火)	矢郷恵子 (毎日の生活研究所代表取締役)
第 30 回	6/25 (火)	介護・健康学科 1年間のまとめ・2年次に向けて 1年間の学びを振り返り、2年次に向けての心構えや準備することなどを話し合しましょう。 [講師] 村田幸子 (学科長) 矢郷恵子 (毎日の生活研究所代表取締役)

